

5001 会社説明会資料

新日本石油株式会社

経営管理第1本部 IR部長 中島 祐二

2009年9月4日



新日本石油
Your Choice of Energy

第 I 部

当社の事業内容について

I. はじめに

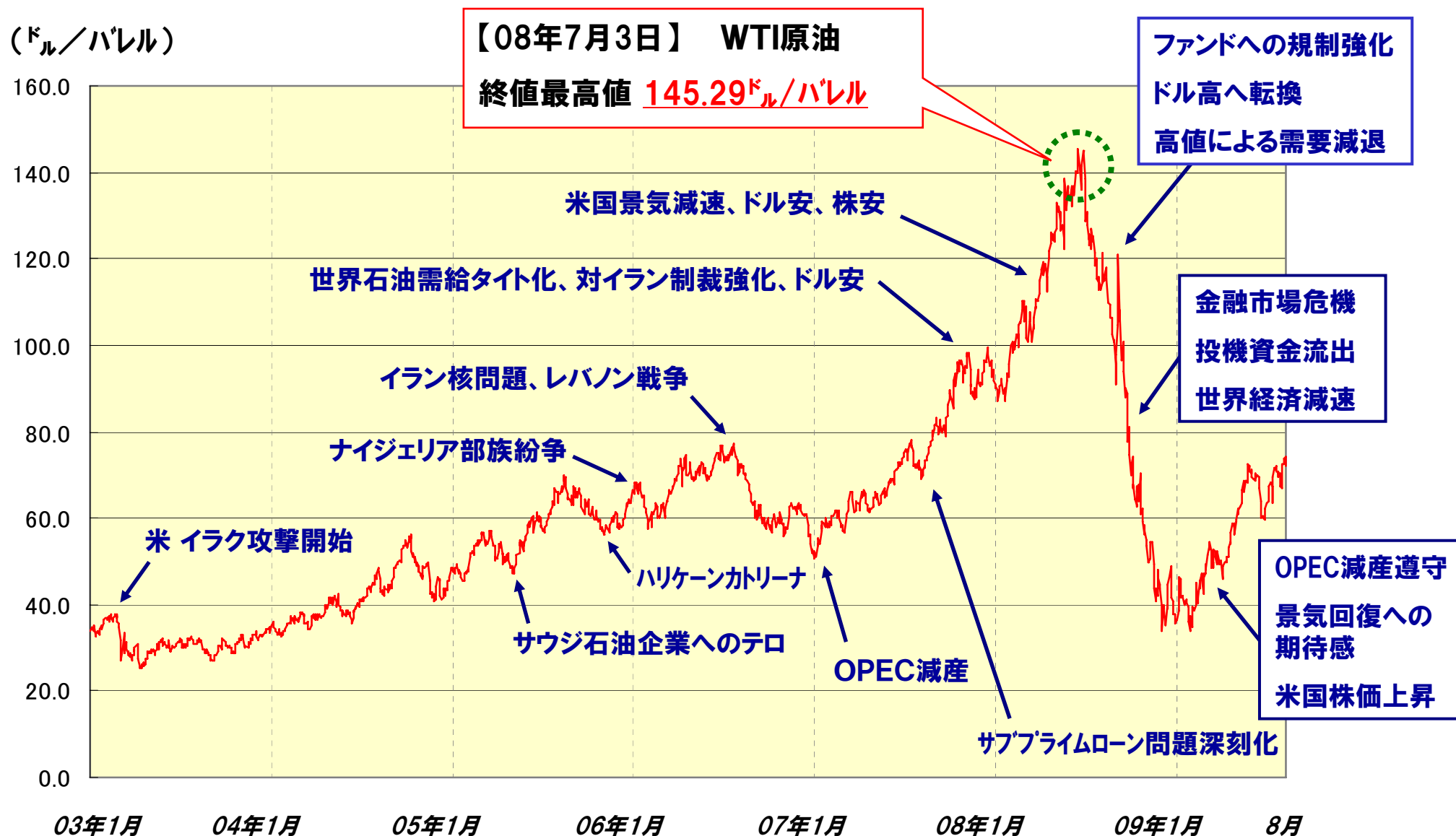
(原油価格動向、当社の事業構成)

II. 2009年度業績見通し

III. トピックス

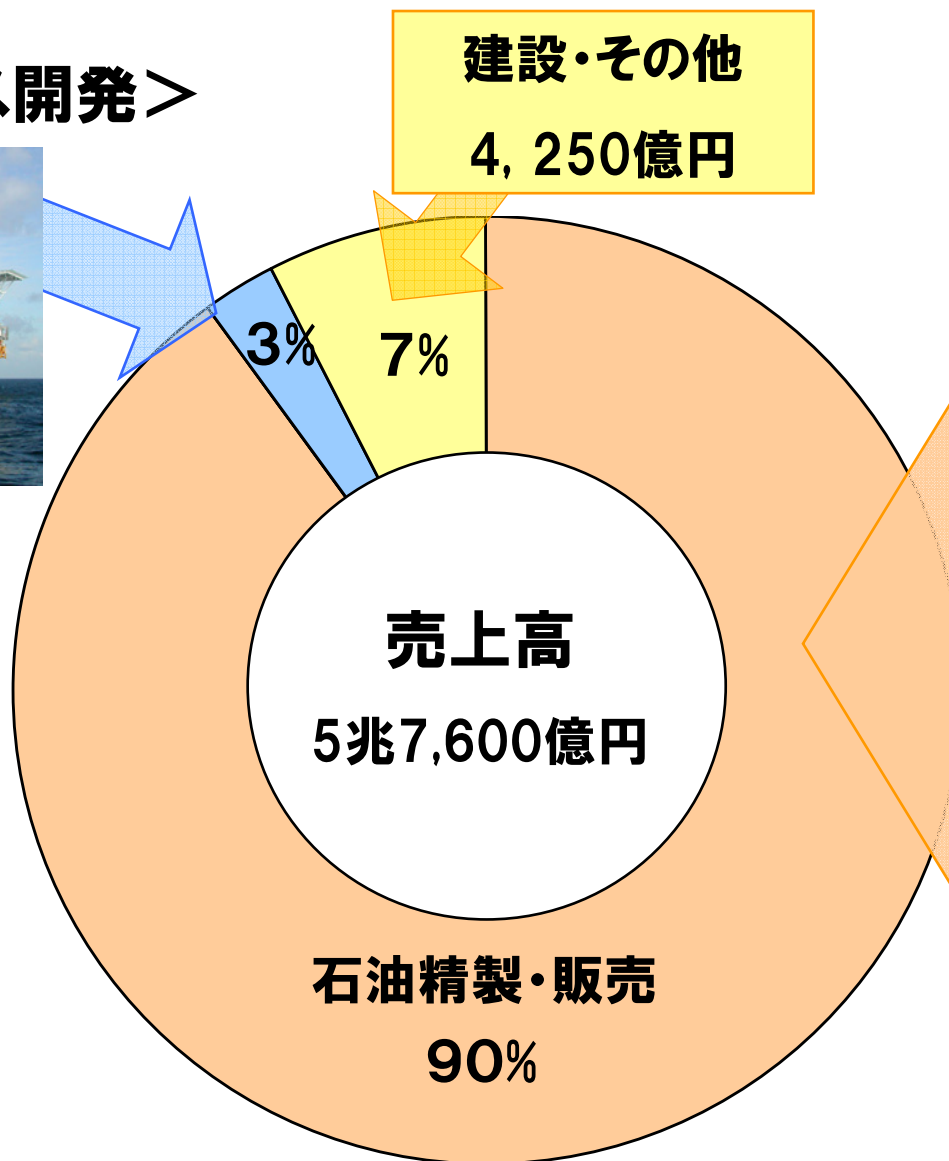
(新規技術型事業の取組みについて)

1. 原油情勢 – W T I 価格の推移



2. 当社の事業構成① (2009年度 売上高見通し)

<石油・天然ガス開発>

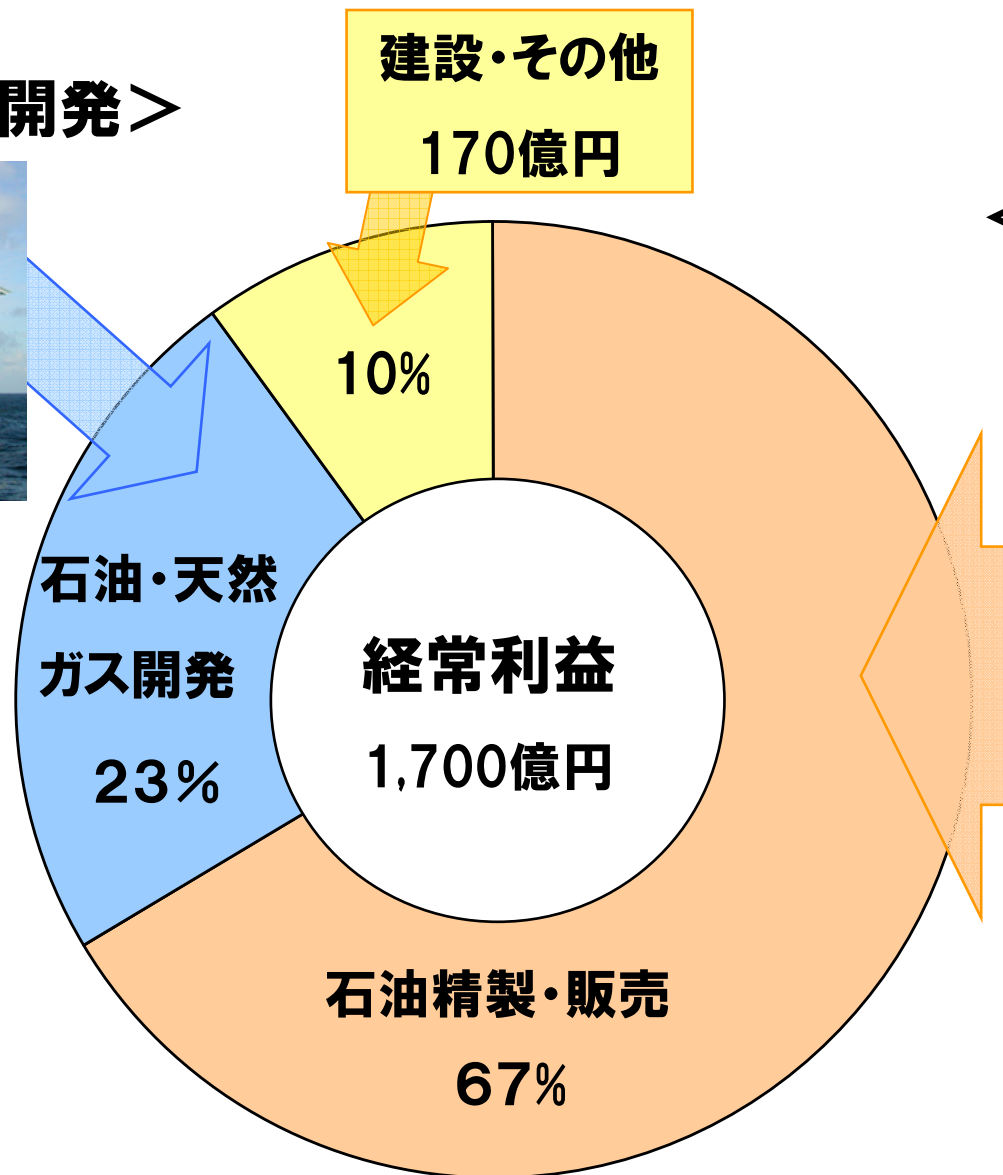


<石油精製・販売>



2. 当社の事業構成②（2009年度 経常利益見通し）

<石油・天然ガス開発>



<石油精製・販売>



-
- I. はじめに
(原油価格動向、当社の事業構成)
 - II. 2009年度業績見通し
 - III. トピックス
(新規技術型事業の取組みについて)

1. 2009年度セグメント別経常利益見通し（7月公表）

（単位：億円）

	08年度（実績）	→	09年度（見通し）
I. 石油精製・販売	(億円) ▲ 4,113	(億円) +5,243	(億円) 1,130
うち 石油製品 （在庫影響）	▲ 3,757 （▲4,470）	+4,967 （+5,570）	1,210 （1,100）
（在庫影響除き）	(713)	（▲603）	(110)
うち 石油化学製品	▲ 356	+276	▲ 80
II. 石油・天然ガス開発	1,211	▲811	400
III. 建設・その他	148	+22	170
経常利益計 （在庫影響除き）	▲ 2,754 （1,716）	+4,454 （▲1,116）	1,700 （600）

2. 2010年度に向けての取り組み

設備投資削減

2008年度～2010年度

億円
2,900
(8,500 → 5,600)

追加的コスト削減

2008年度～2010年度

億円
140

日本海石油原油処理停止 九州石油統合

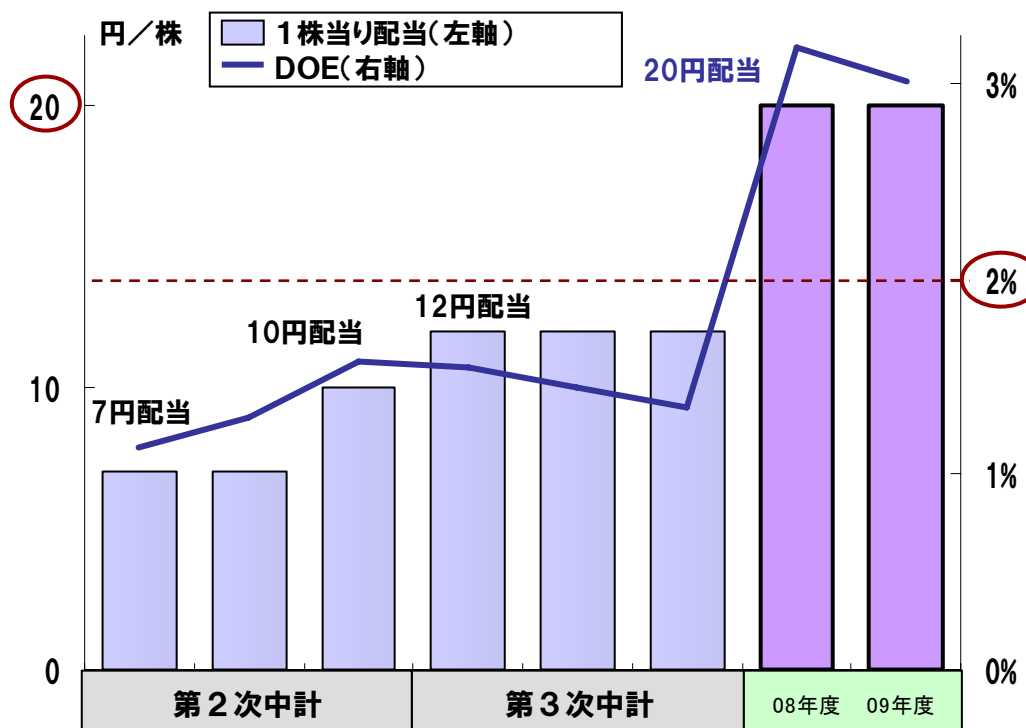
億円/年
110

統合新会社経営計画へ

3. 株主還元

株主還元拡大

株主還元推移



1株当り配当 年間20円/株

DOE* 目標 2%以上

*DOE:自己資本配当率 = $\frac{\text{配当総額}}{\text{自己資本}}$

-
- I. はじめに
(原油価格動向、当社の事業構成)
 - II. 2009年度業績見通し
 - III. **トピックス**
(**新規技術型事業の取組みについて**)

1. ホームエネルギー戦略①

当社のホームエネルギー戦略について

家庭用燃料電池システムの開発 および量産体制の構築

- ・ ENEOSセルテック*1設立
- ・ 一般消費者向けの予約販売を開始

太陽光発電システム事業を推進

- ・ FC・ソーラー事業部設置
- ・ スペースエナジー社への出資
- ・ 三洋ENEOSソーラー*2設立

*1(株)ENEOSセルテック・・・当社出資81%、三洋電機出資19%
の定置用燃料電池事業の合併会社。2008年4月設立

*2三洋ENEOSソーラー(株)・・・当社出資50%、三洋電機出資50%
薄膜太陽燃料電池事業の合併会社。2009年1月設立

具体的な取り組み事例

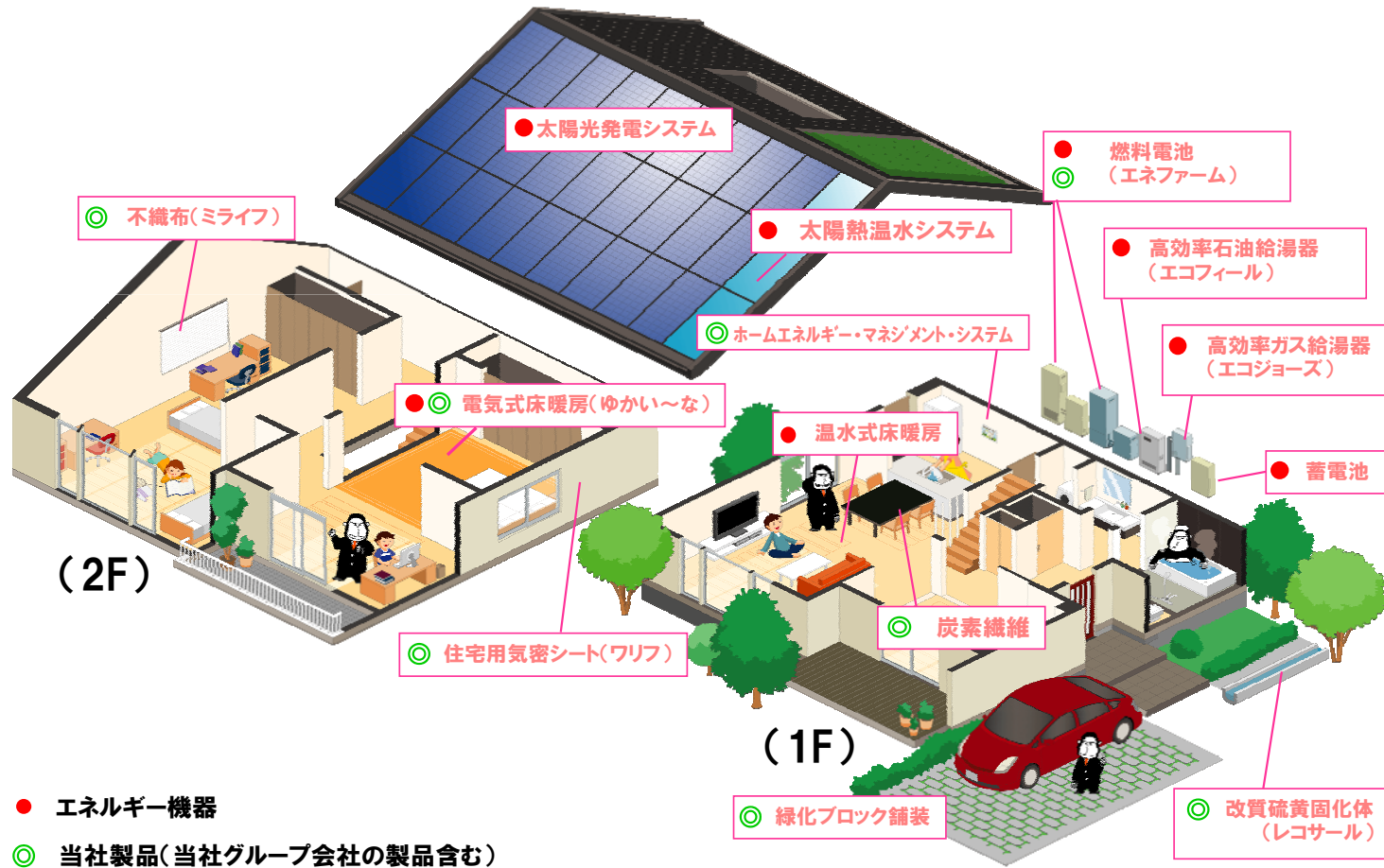
住宅用総合エネルギーシステムの開発

ENEOS わが家で創エネ プロジェクト

- 自分たちの家で、エネルギーを創り出す
- 自分たちの家で、エネルギーの使い方を創造する

1. ホームエネルギー戦略②

<実証住宅とエネルギー機器、当社製品(イメージ)>



※住宅デザイン、構成機器はイメージを示すもので実際とは異なります。



創エネハウスが横浜市に完成(2009年3月)

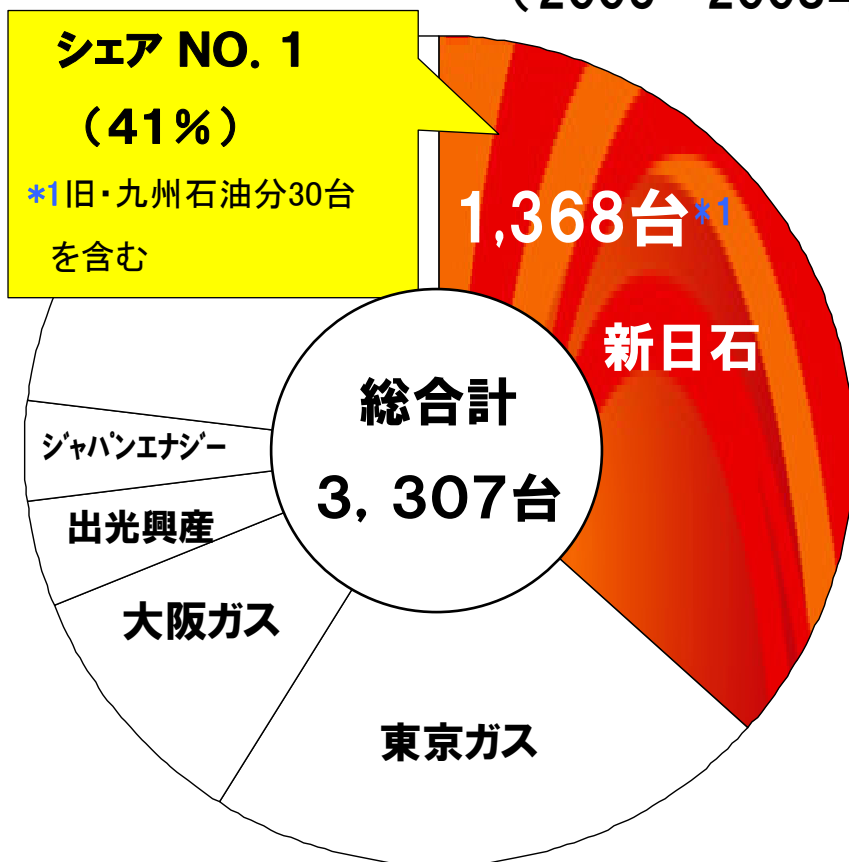


2. 燃料電池(エネファーム)

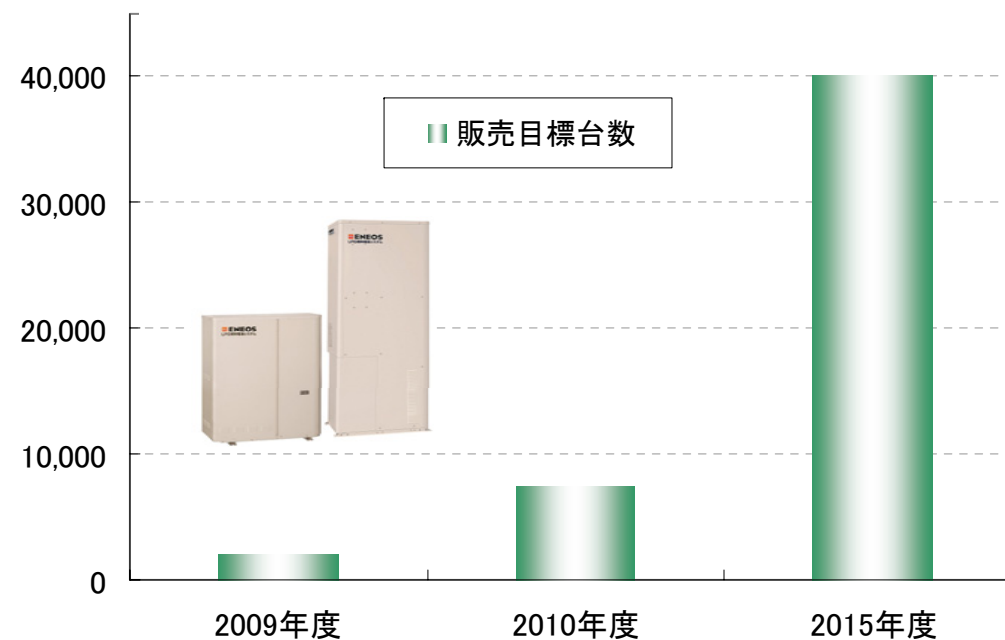
家庭用燃料電池システムの設置および一般予約販売の開始

<家庭用燃料電池システム設置状況>

(2005~2008年度)



家庭用燃料電池システム販売計画



*2燃料電池実用化推進協議会による家庭用燃料電池の業界統一名称(LPガス・都市ガス・灯油仕様)

第Ⅱ部

新日鉱ホールディングスとの 経営統合について

1. 統合の背景

資源価格の乱高下

国内石油需要の減少

資源獲得競争激化

環境問題

勝ち残るには・・・

成長と発展に向け、先手を打つ

2. 統合の基本コンセプト

両社グループの経営資源を統合

両社グループの経営資源を結集の上、最大活用

▶ 世界有数の「総合エネルギー・資源・素材企業グループ」へ

成長戦略を展開・高収益部門への経営資源配分

▶ 「ベストプラクティス」による企業価値の最大化

石油精製販売事業

▶ 劇的な事業変革の早期実現

3. 統合後の基本的な理念および統合効果

<基本的な理念>

(1)「エネルギー・資源・素材」の事業領域において、将来にわたり、地球環境との調和および社会との共生を図り、健全で透明なコーポレートガバナンスと適正かつ機動的な業務執行体制を確立し、もって、持続可能な経済・社会の構築・発展に貢献します。

(2)「エネルギー・資源・素材」の上流から下流までの一貫操業体制のもと、安定的かつ効率的な供給と事業全般にわたる創造性・革新性を追求します。

<統合効果>

少なくとも年600億円以上の統合効果を実現

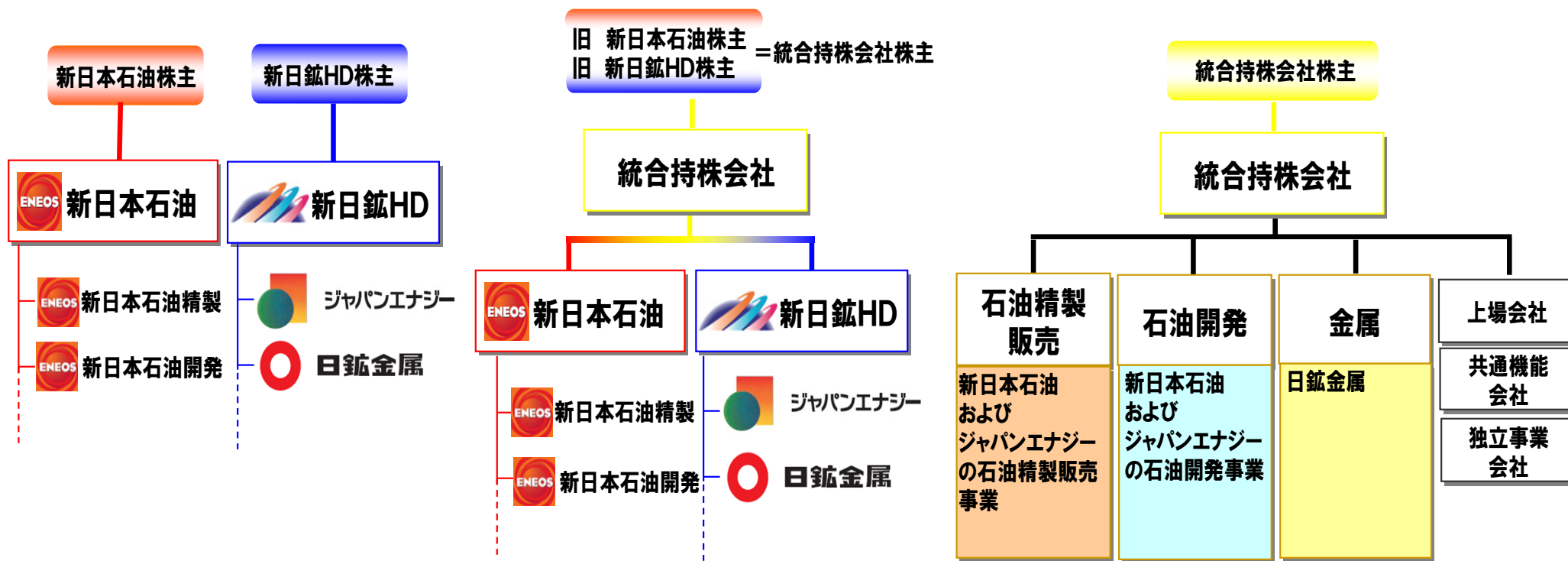
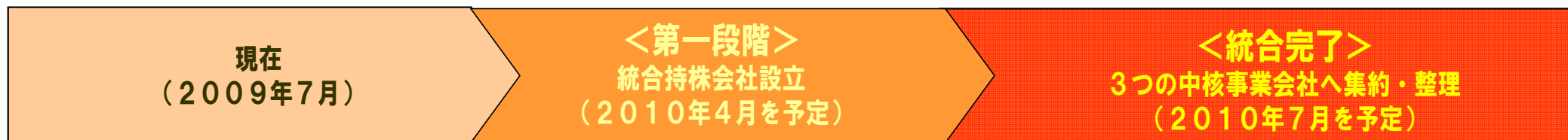
年1,000億円以上 を目指す

4. 統合方法

■ 株式移転による統合持株会社設立



■ 統合持株会社の下 3つの中核事業会社を配置



5. 今後の主要な協議事項

統合比率

両社がそれぞれ起用するフィナンシャルアドバイザーの評価を参考にしつつ、両社協議の上、決定

統合持株会社・
中核事業会社の社名

統合持株会社・
中核事業会社の本店所在地

経営統合準備委員会を設置し、
両者協議の上、決定

ガバナンス

ブランド(商標)・
シンボルマーク

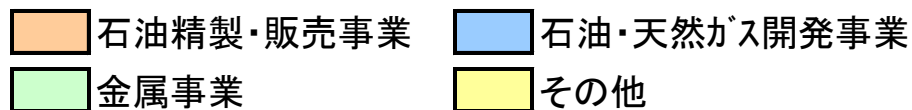
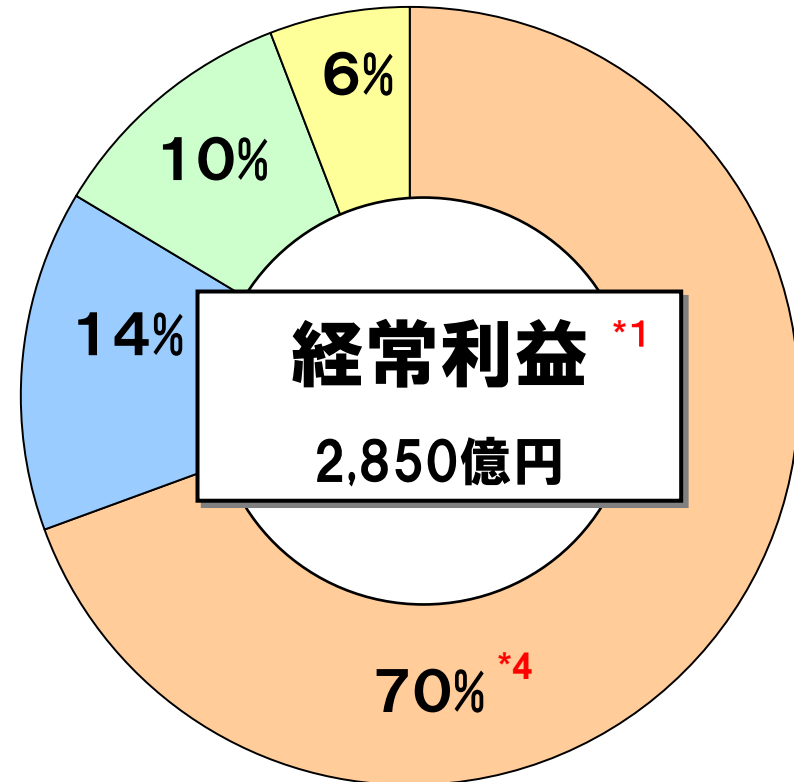
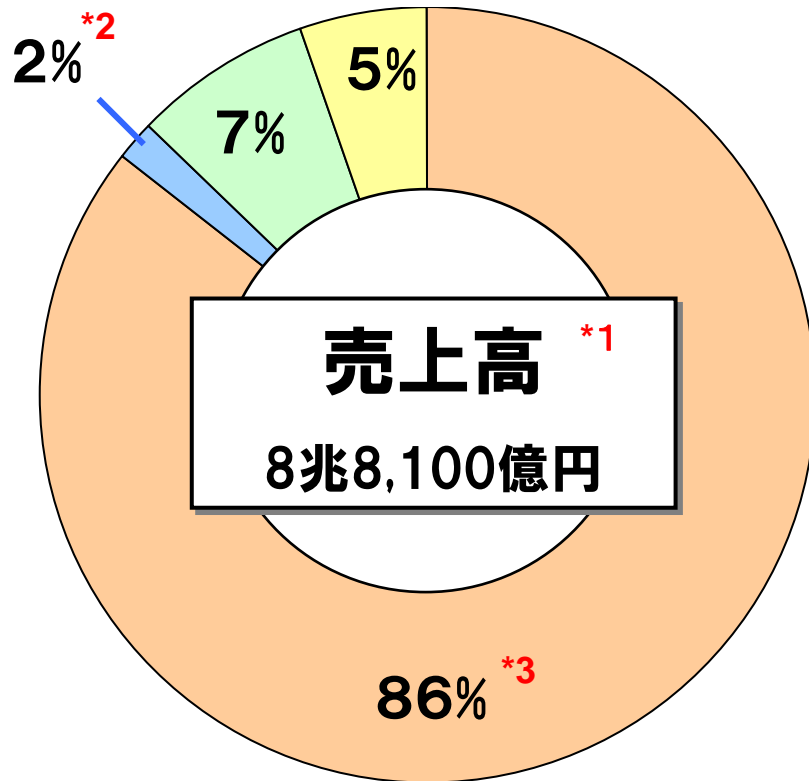
6. 統合スケジュール

2008年12月4日	経営統合に関する基本覚書締結
2008年12月	デューデリジェンス開始
2009年10月(予定)	経営統合に関する本契約締結(株式移転契約等)
2010年1月(予定)	新日石・新日鉱HD 臨時株主総会(株式移転の承認)
2010年4月(予定)	統合持株会社の設立、上場
2010年7月(予定)	中核事業会社の設立

* 具体的なスケジュールについては、株主総会における承認および関係当局の審査など、経営統合に向けた諸手続きの進捗に応じて、新日石および新日鉱で協議の上、決定いたします。

7. 統合新会社のイメージ① – 財務データ(2009年度見通し) –

セグメント別構成比



*1 両社の単純合算値(新日石は7月公表値、新日鉱は4月公表値)

*2 新日本石油のみ

*3 新日鉱の石油・天然ガス開発事業を含む

*4 両社のセグメント合計

7. 統合新会社のイメージ② - 石油精製 -

全日本の石油精製能力(09年3月末時点)

元売グループベース	製油所数	能力(万バレル)	精製シェア
新日石グループ	7	132	27.2%
ジャパンエナジー	2	48	9.8%
東燃ゼネラル	4	84	
出光興産	4	64	
コスモ石油	4	64	
昭和シェル石油	3	52	
その他	4	42	
合計	28	483	

(出所) 石油連盟

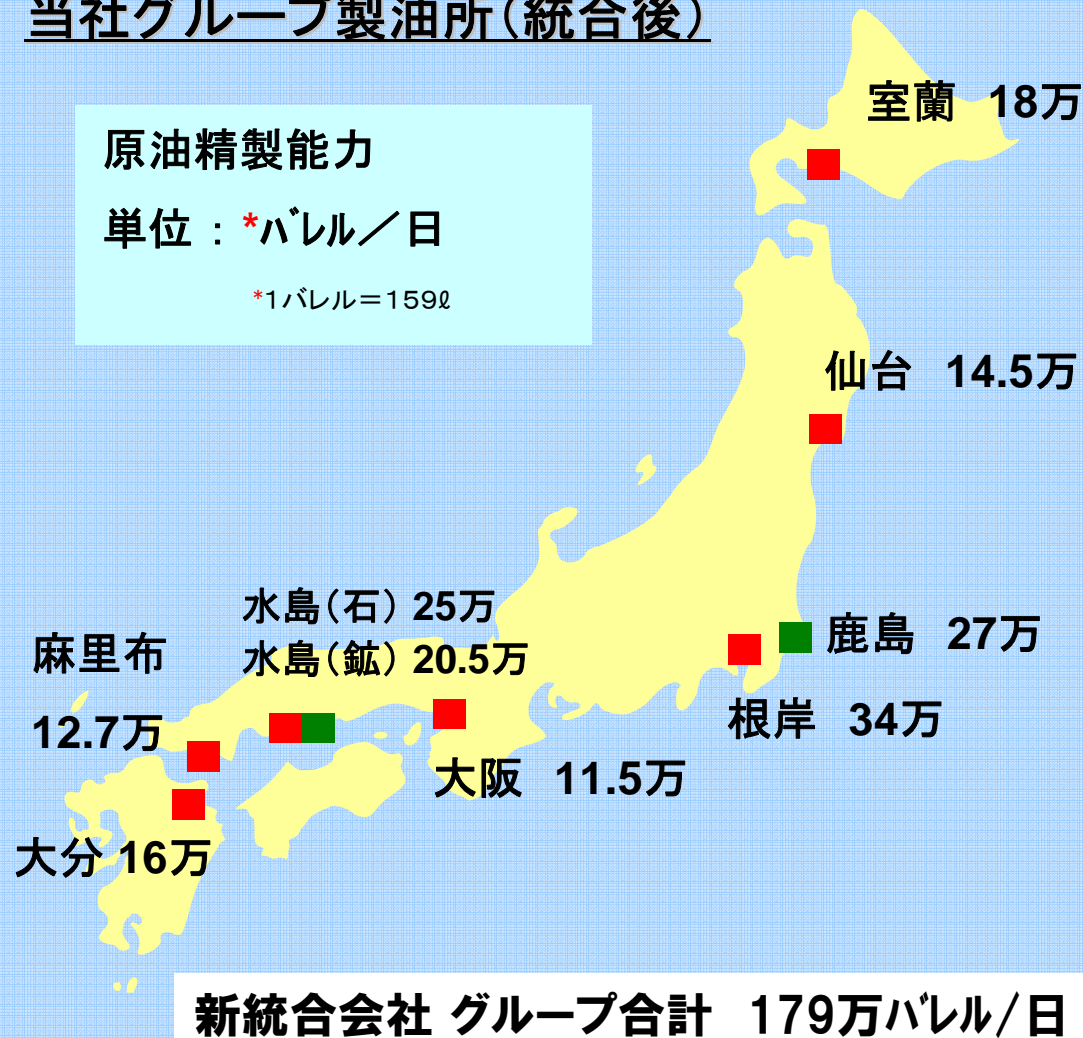
■ 新日鉱グループ製油所

当社グループ製油所(統合後)

原油精製能力

単位: *バレル/日

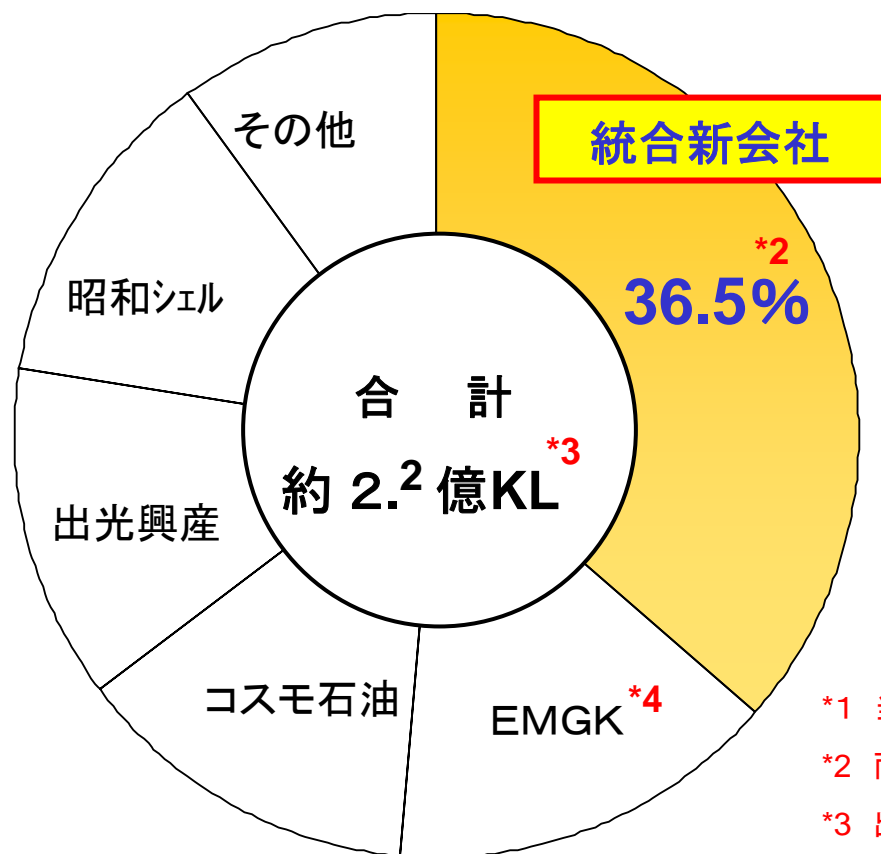
*1バレル=159ℓ



7. 統合新会社のイメージ③ – 石油製品販売 –

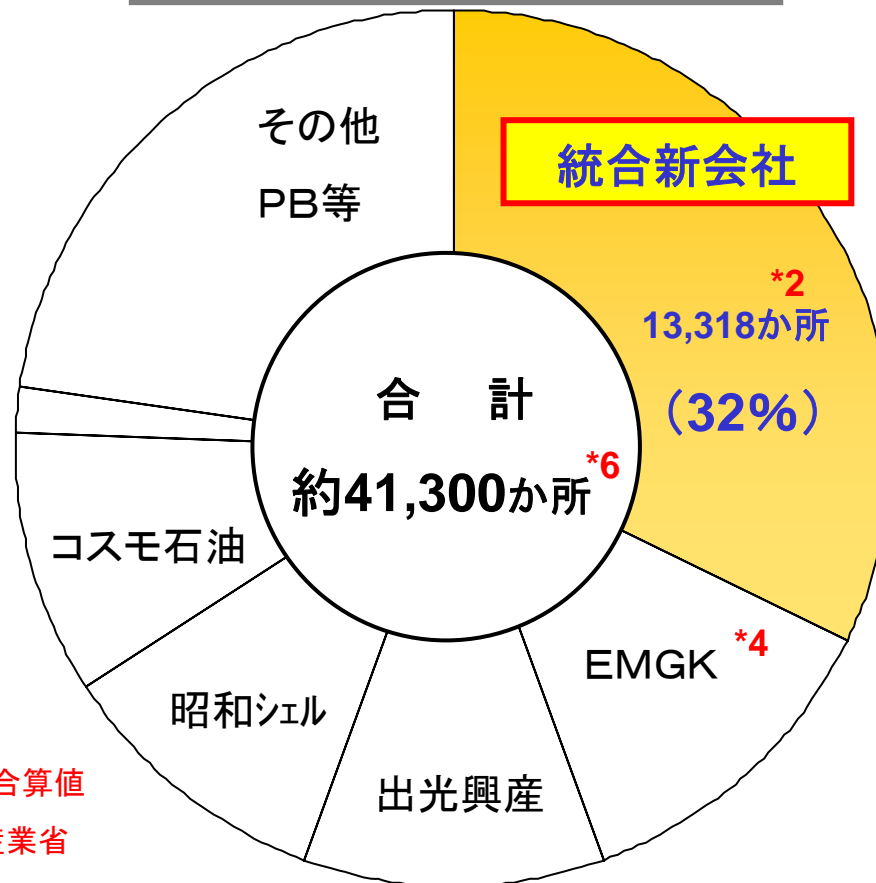
燃料油販売シェア *1

(2007年度)



元売系列SS数のシェア *5

(2009年3月末)



*1 当社推定

*2 両社の単純合算値

*3 出所: 経済産業省

*4 エクソンモービル, セネラル, キグナスのグループ計

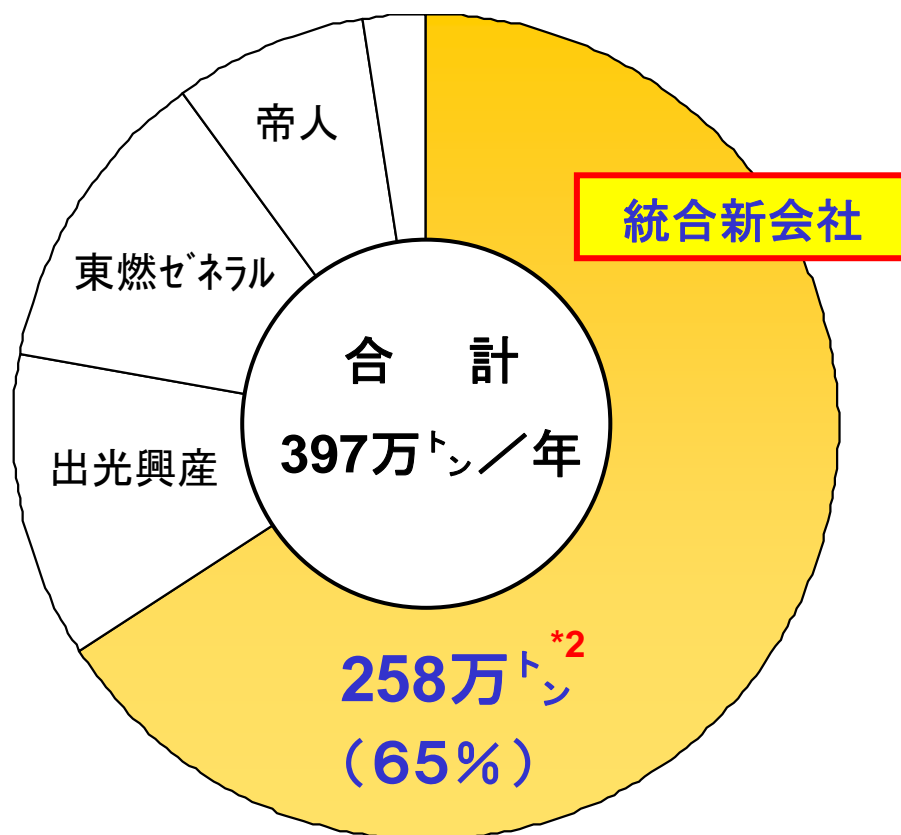
*5 出所: 燃料油脂新聞社

*6 固定式SS数(当社推定)

7. 統合新会社のイメージ④ – 石油化学 –

パラキシレンの生産能力(2008年)

国内生産能力シェア *1



*1 出所: 化学品ハンドブック2008 (重化学工業通信社)

*2 両社の単純合算値(新日鉱のマレーシア分を除く)

アジアでの生産能力比較 *3

単位: 万トン/年

順位	企業名	国籍	生産規模
1位	統合新会社	日本	262 *4
2位	エクソンモービル	米国	188
3位	GSカルテックス	韓国	170
4位	SKエナジー	韓国	75
5位	CPCコーポレーション	台湾	72

世界の生産能力比較 *3

単位: 万トン/年

順位	企業名	国籍	生産能力
1位	エクソンモービル	米国	319
2位	BP	英国	290
3位	統合新会社	日本	262 *4
4位	シノペック	中国	192
5位	リライアンス・インダストリー	インド	192

*3 出所: CMAI

*4 新日鉱のマレーシア分を含む

メール配信サービスのご案内

当社では、最新のIR情報を電子メールにてお知らせする「メール配信サービス」を実施しております。
当社ホームページ「[投資家情報トップページ](#)」からご登録いただけますので、是非ご利用ください。



こちらからご登録いただけます

IR関連サービスのご提供

ご登録いただいた方に、IRに関する情報を電子メールにてお知らせするサービスです。

[IRメール配信サービス](#)

ここをクリックしてください。

当社の広告スローガンとキャラクター紹介

ENEOSの仲間、エネゴリくんは、いつも明るく前向きで、やさしい気持ちの持ち主のゴリラです。森の住人の視点からENEOSの取り組みを見つめ、人間が抱えた宿題をともに考えていきます。

今、「省エネの暮らし」から、「創エネの暮らし」へ。新しい時代がいよいよ動き出そうとしています。

家の灯りをつけるとき、「エネファーム」のある未来の暮らしを、ちょっと想像してみてください。

新しい豊かさって、こういうことじゃないかな。

エネオス

エネゴリ

エネファーム

エネゴリくん



と覚えてください。これからの時代の
キーワードです。



エネルギーを、ステキに。

ENEOS

本資料に関する注意事項

本資料には、新日本石油株式会社、新日鉱ホールディングス株式会社および経営統合後の持株会社に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれております。これらは、現時点で入手可能な情報に基づき、両社の経営陣が合理的に判断したものであります。また、これらの記述のためには、一定の前提(仮定)を使用しております。

これらの記述または前提(仮定)は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。また、本資料に記述された計画数値や施策の実現を確約するものではありません。

また、本資料に記載された両社または経営統合後の持ち株会社を除く企業等に関する情報は一般的に公開された情報等を原則としてそのまま採用しており、それらの正確性および完全性について両社は検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先

新日本石油株式会社
経営管理第1本部 IR部IRグループ
TEL(03)-3502-1184